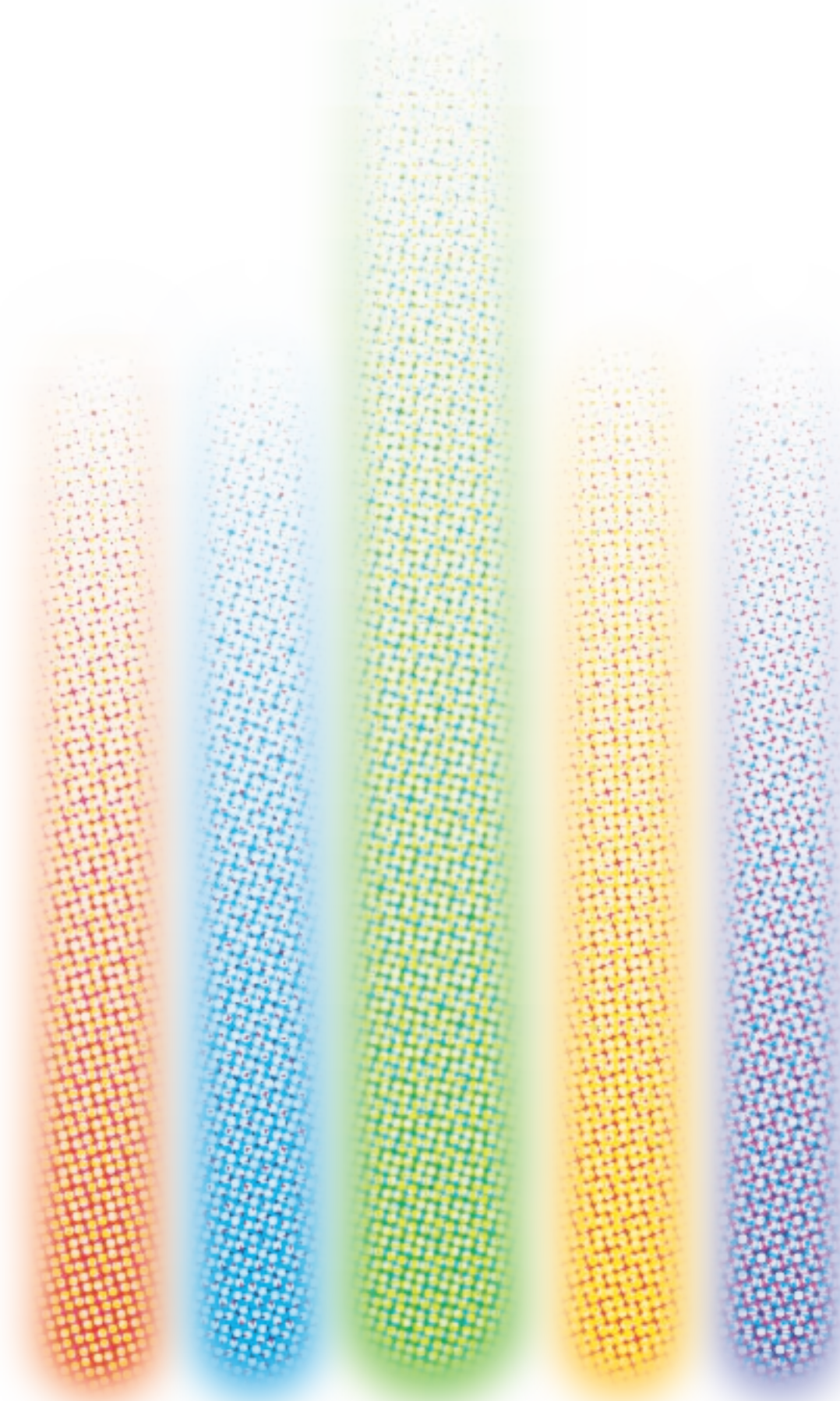


JESCO 東京PCB廃棄物処理施設



JESCOは国の監督のもと、PCB廃棄物の処理を行う機関です。



30年以上にわたって保管されてきたPCB廃棄物の安全・確実な処理を行います。

日本環境安全事業株式会社(JESCO)は、国民の皆さまが安心して暮らせる環境を保全することを目的として、国の監督のもとPCB廃棄物の処理を行うため、旧環境事業団のPCB廃棄物処理事業等を継承して、平成16年4月1日に100%政府出資により設立されました。

所和49年に製造や新たな使用が禁止されて以来、PCB廃棄物は約30年にも及ぶ長期保管を余儀なくされてきましたが、平成13年に「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」が制定され、PCB廃棄物の保管事業者は平成28年までに処理することが義務づけられました。

日本環境安全事業株式会社では、国の監督と施設立地自治体の指導・監督のもと、全国5カ所に処理施設を設置し、全国で保管されているPCB廃棄物の処理を行います。処理の実施にあたっては、安全・確実な処理を優先に考えます。また、PCB廃棄物処理事業に関する情報を積極的に公開します。

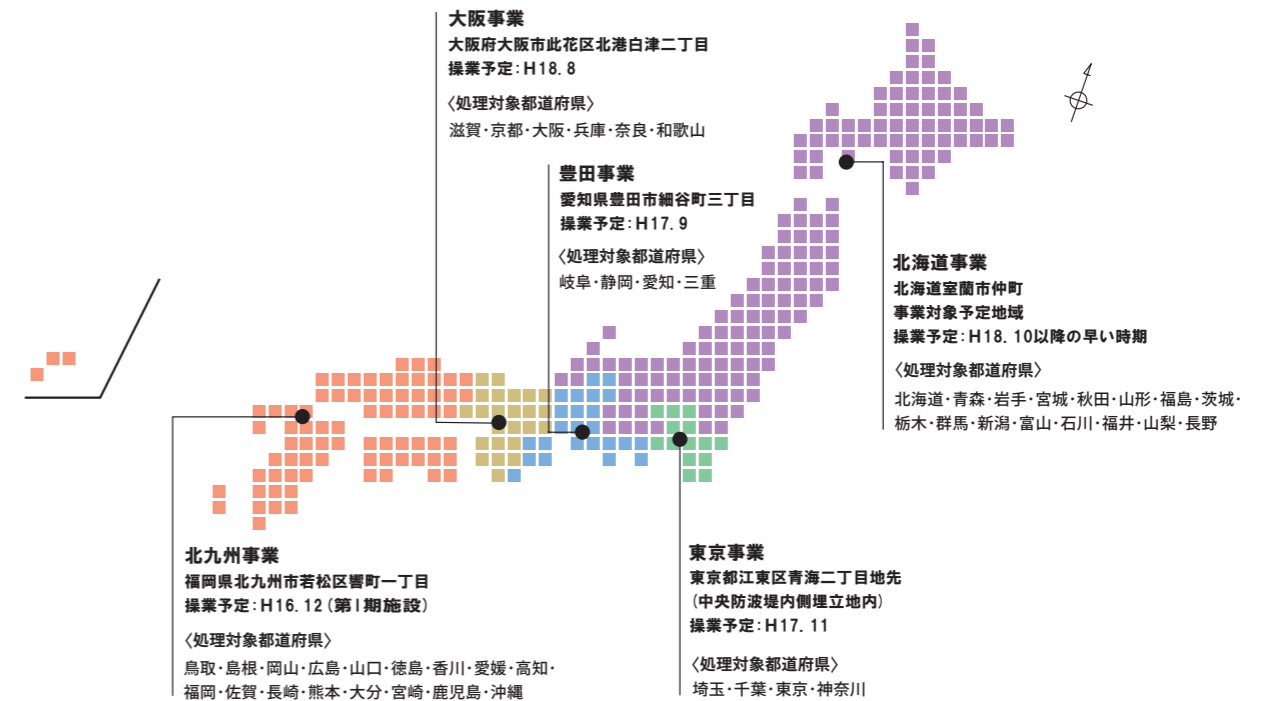
わたしたちは、PCB廃棄物保管事業差及び国民の皆さまのご協力と理解をいただき、安全・確実にPCB廃棄物処理事業を行うことにより、国民の皆さまが安心して暮らせる環境の保全と創造に全力を尽くしてまいります。

全国5事業所で、PCB廃棄物の処理を行います。

各事業所ごとの処理事業対象地域は、国の定めるPCB廃棄物処理基本計画に基づき、次のように決められています。

■: 事業対象区域

●: 処理施設設置場所



東京PCB廃棄物処理施設では、埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県 of PCB廃棄物を処理します。

東京PCB廃棄物処理施設は、国が定めたPCB廃棄物処理基本計画に基づき、東京都江東区青海二丁目地先に建設されました。処理能力は、PCB分解量にして1日約2トン。処理対象地域一都三県に保管されているPCB廃棄物の、安全確実な処理を行います。操業開始は平成17年11月を予定しています。処理対象廃棄物は、高圧トランス・高圧コンデンサ、安定器等及び柱上トランスの絶縁油です。

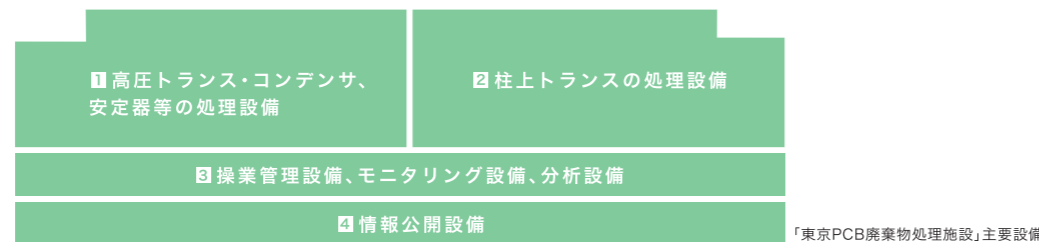


事業実施場所: 東京都江東区青海二丁目地先
(中央防波堤内側埋立地内)
処理能力: PCB分解量 2トン/日
処理対象物: 高圧トランス、高圧コンデンサ、安定器等
柱状トランスの絶縁油(東京都内分)
処理開始予定: 平成17年11月
構造: 鉄骨造地上5階建
建築面積 約13,000㎡
延床面積 約37,000㎡

施設内の主要な設備、 処理工程の概要を ご説明します。



東京PCB廃棄物処理施設の主な設備は、**■ 高圧トランス・高圧コンデンサ、安定器等のPCB除去・分解処理設備** **■ 柱上トランスの絶縁油のPCB分解処理設備** **■ これら処理設備の安全な運転、処理の確認、排出モニタリング等を行う管理設備** **■ PCB処理設備・作業を積極的に情報公開するための、見学・情報公開設備**からなっています。



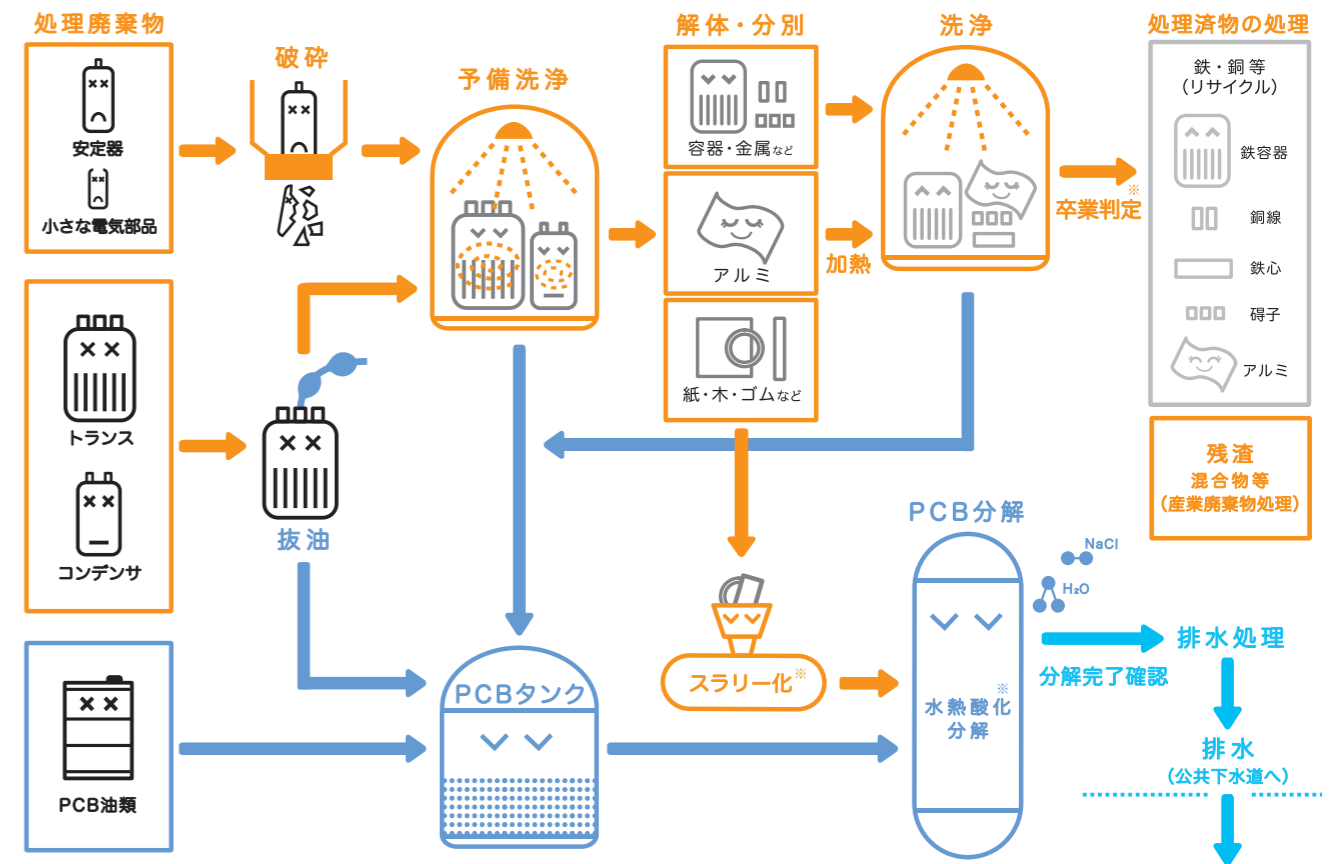
処理施設では、廃棄物容器の解体・分別・洗浄処理とPCBが含まれた液の分解処理を行います。

東京PCB廃棄物処理施設では「水熱酸化分解法」及び「脱塩素化分解法」でPCBを分解処理します。

高圧トランス・コンデンサ、安定器等から除去したPCBの処理には、水熱酸化分解設備を使用。容器等は解体・分別・洗浄処理され、鉄・銅などはリサイクルされます。柱上トランスの絶縁油のPCB分解処理には、脱塩素化分解設備を使用します。処理済みの油は燃料としてリサイクル、トランス容器もリサイクルされます。

■ 高圧トランス・コンデンサ、安定器等の処理工程

→ 容器処理 → 液処理

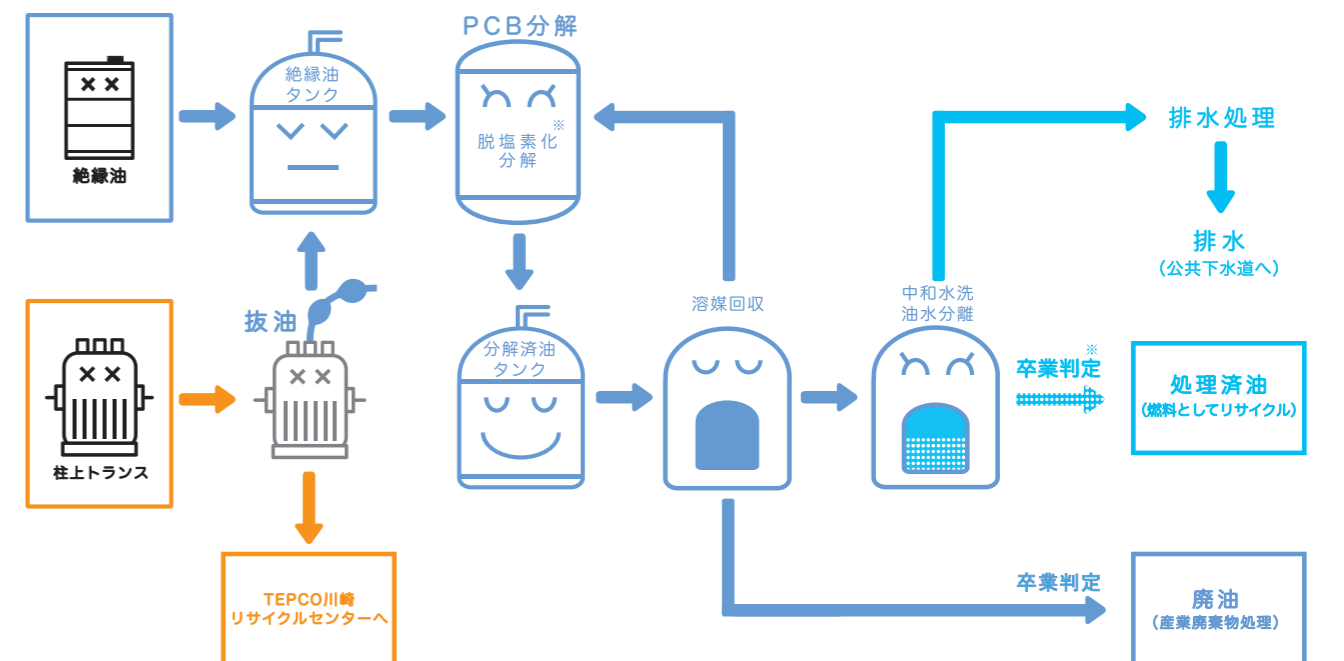


※用語説明

- ・水熱酸化分解……温度約370℃、圧力26.5MPa程度の水の高い反応性を利用し、酸素を酸化剤として、PCBを二酸化炭素、塩化ナトリウム、水に分解。
- ・脱塩素化分解……アルカリ剤を利用して、約200℃、常圧で反応させ、PCBの塩素を水素基と置換して、ビフェニル、塩化ナトリウムに分解。
- ・卒業判定……処理物を施設外に出す際に、当該処理物がPCB廃棄物でなくなっていることを確認するためにを行う試験。
- ・スラリー化……液体と固体粒子との懸濁液の状態にすること。

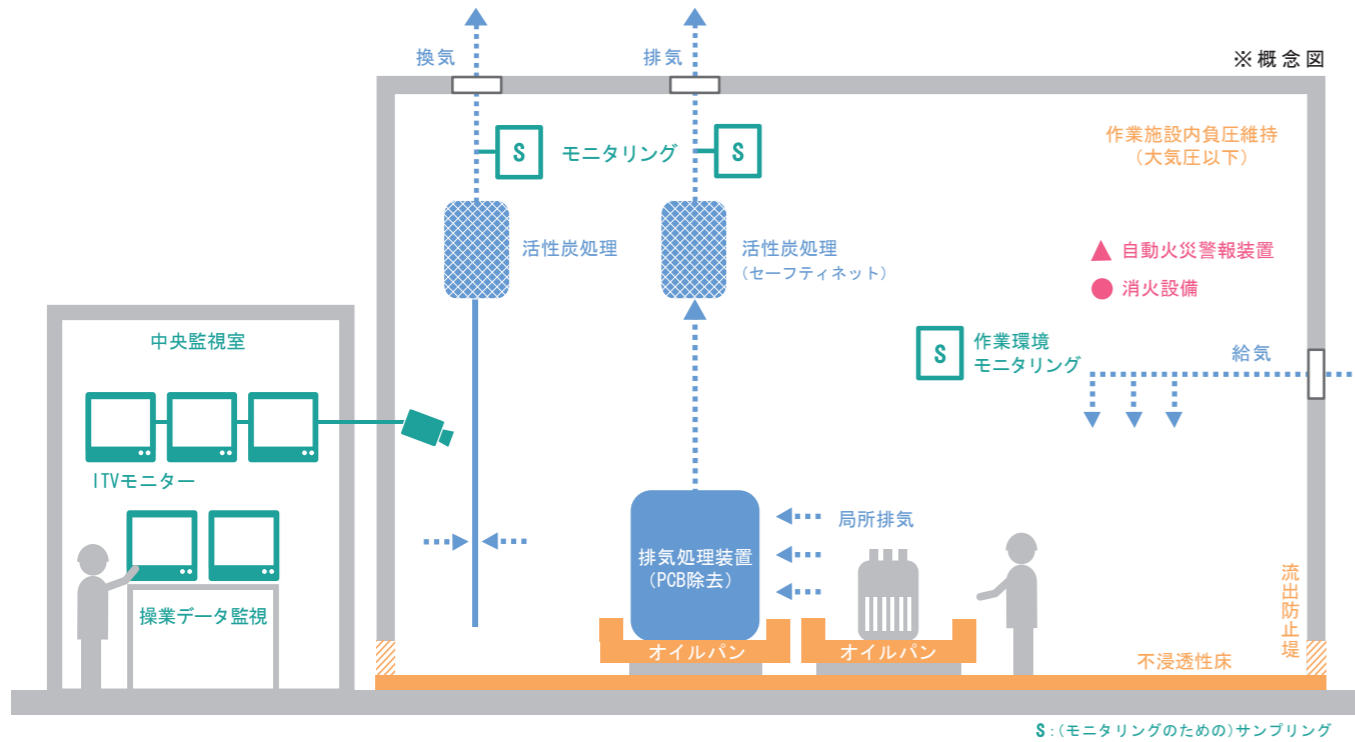
■ 柱上トランス絶縁油の処理工程

→ 容器処理 → 液処理



東京PCB廃棄物処理施設は、 多重の安全・管理対策が図られています。

PCB廃棄物処理施設に必要な安全対策設備には「排気対策設備」「漏洩防止対策設備」「緊急時対策設備」があります。そしてこれらの安全対策設備を常時モニタリング・監視する管理設備を設置。万全の安全管理体制により処理作業を行います。



監視・モニタリング	排気対策	排気対策: 集められた排気は、排気処理装置(オイルスクラバー)でクリーンにしたのち、更にセーフティネットとしての活性炭吸着装置で処理、排出しています。
	漏洩防止対策	漏洩防止対策: 万が一にもPCBが漏れ出さないよう、取扱い場所や処理機器類の下にはオイルパン(油受けの皿)を設けています。また、建物の床面には不浸透性・耐薬品・耐摩耗性にすぐれた、耐久性のある樹脂を多重に塗布。もしPCB油が漏洩しても、床面への浸透を防止します。これらのオイルパンや床には、漏洩を検出するための検知器が取付けてあります。また、施設内の空気圧力を施設外部より低くすることで、施設内の空気が外部に流出しないようにしています。
	緊急時対策	緊急時対策: 感震装置により設定以上の地震を感知した場合、設備は自動停止します。また、施設を火災から守るため、自動火災警報装置・粉末消火設備・消火栓設備を設置しています。

施設内に情報公開ルーム・見学ルートなど、 情報公開のための設備を設けました。

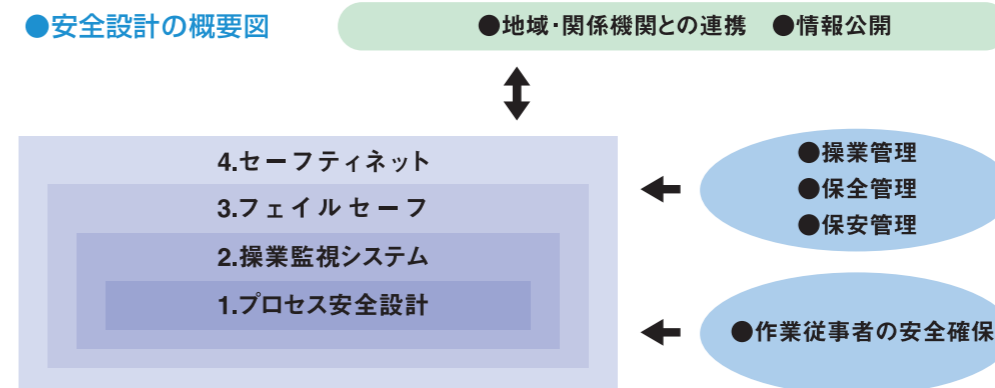
東京PCB廃棄物処理施設では、施設に関する資料、施設の運転に関するデータ、施設排気のモニタリング状態等の環境に関するデータなど、PCB処理事業に関する情報を積極的に公開します。

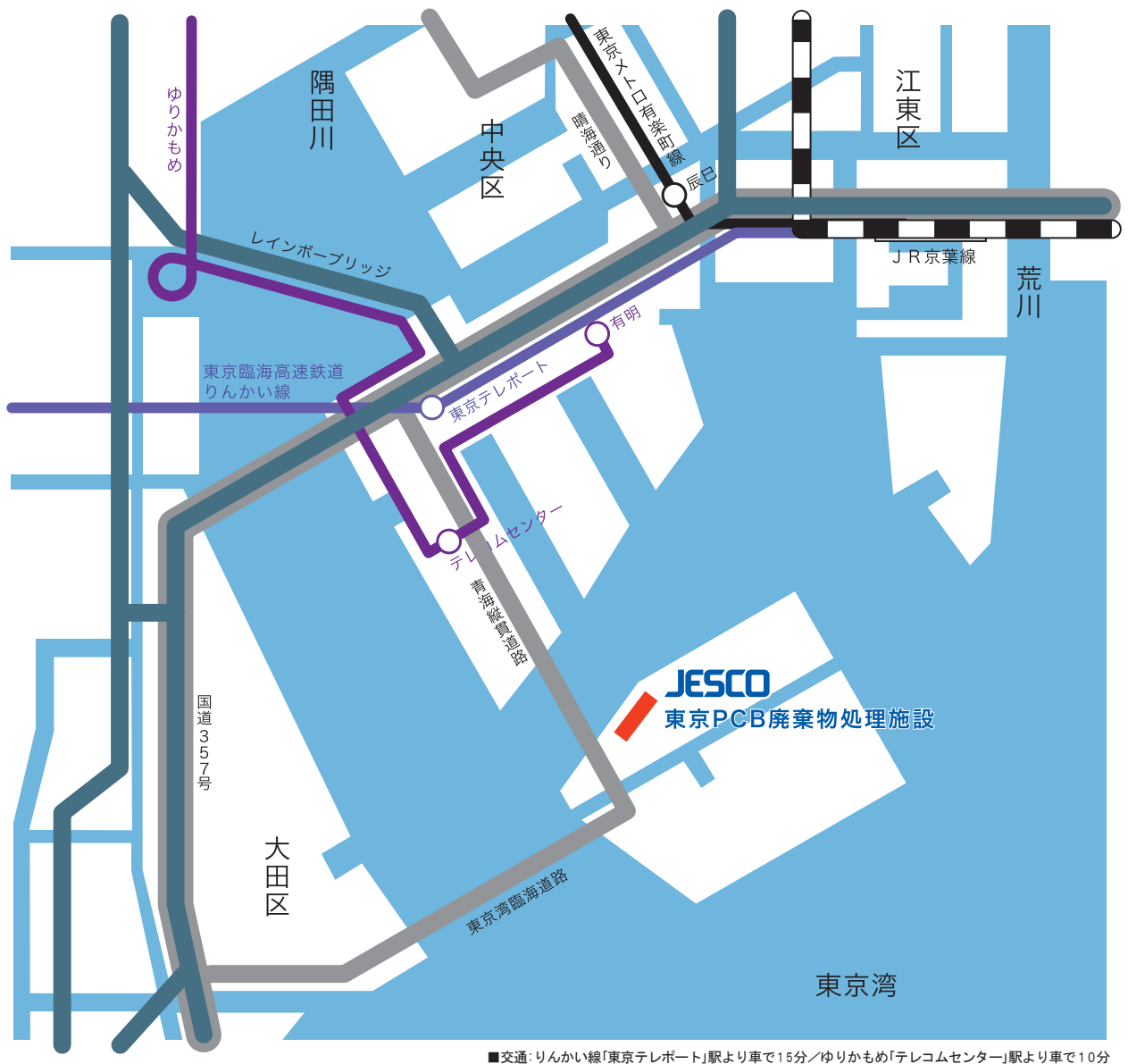
施設内に情報公開ルームを設置、PCB処理に関する情報が自由にご覧になれます。また、主要な処理設備・作業工程を安全に見学するための、見学ルートを設けました。プレゼンテーションルームでは、施設の概要、PCB処理の安全性などについて、分かりやすくご紹介します。さらに、ホームページにPCB廃棄物処理に関わる情報の掲載も行っています。



JESCOの運営するPCB廃棄物処理施設は、 すべて安全・確実な管理・運転を行います。

すべてのPCB廃棄物処理施設の整備にあたっては、地域の実情に合った安全確実なPCB廃棄物処理が行えること、運転時の環境・安全対策が十分に施されていること、さらに異常時にも的確な対応が可能なことなどを厳しく吟味しながら行っています。また、排気・排水・残さが環境に影響を与えないよう、徹底した対策を講じてあります。





■交通:りんかい線「東京テレポート」駅より車で15分/ゆりかもめ「テレコムセンター」駅より車で10分

日本環境安全事業株式会社 東京事業所
東京PCB廃棄物処理施設

〒135-0064 東京都江東区青海二丁目地先(中央防波堤内側埋立地内)

日本環境安全事業株式会社 本社

〒105-0014 東京都港区芝1-7-17 住友不動産芝ビル3号館4F
 TEL 03-5765-1911(代) FAX 03-5765-1938
 <PCB処理事業のお問合せ: TEL 03-5765-1919 FAX 03-5765-1940>

- 日本環境安全事業株式会社ホームページ/ www.jesconet.co.jp
- ご意見・お問合せメールアドレス/ jesco@jesconet.co.jp

